

## 5.3 科学研究費など外部資金

- a. 研究課題
- b. 研究代表者
- c. 金額

### (1) 日本学術振興会

(1.1) 科研費新学術領域(研究領域提案型) 太陽地球圏環境予測: 我々が生きる宇宙の理解とその変動に対応する社会基盤の形成(代表: 草野完也)

#### (1.1.1)

- a. A02 太陽嵐の発生機構の解明と予測
- b. (代表) 一本潔
- c. 平成 27 年-31 年 総額 125,400,000 円 (平成 27 年度 52,130,000 円)

#### (1.1.2)

- a. A04 太陽周期活動の予測とその地球環境影響の解明
- b. (代表) 余田成男、(分担) 浅井歩
- c. 2015(平成 27) 年度: 1,100,000 円 (浅井分配分)

#### (1.1.3)

- a. A04 太陽周期活動の予測とその地球環境影響の解明
- b. (代表) 余田成男、(分担) 上野悟
- c. 2015(平成 27) 年度: 1,500,000 円

### (1.2) 基盤研究

#### (1.2.1) 基盤研究 (B)

- a. 太陽白色光フレアと太陽型星スーパーフレアの比較研究
- b. 柴田一成
- c. 平成 25 年-27 年 (総額 14,700,000 円) 平成 27 年度: 4,300,000 円

#### (1.2.2) 基盤研究 (B) 分担者

- a. 太陽フレア・トリガ機構の解明とその発生予測
- b. 代表: 草野 完也 (名古屋大学) 分担: 浅井 歩
- c. 200,000 円

#### (1.2.3) 基盤研究 (C) 分担者 a. 地表層補償光学に基づく超広視野太陽像回復の効果

- b. 代表: 三浦則明 (北見工業大学) 分担: 上野悟
- c. 100,000 円

### (1.3) 若手

#### (1.3.1) 若手 (B)

- a. 太陽衝撃波の観測的研究による、コロナ質量放出の発生源の解明
- b. 浅井歩
- c. 平成 27 年-29 年 平成 27 年度: 600,000 円

#### (1.3.2) 若手 (B)

- a. 多波長同時偏光分光観測で明らかにする太陽彩層大気の磁気流体波
- b. 阿南 徹
- c. 平成 27 年-29 年 総額 4,290,000 円 (平成 27 年度: 3,640,000 円)

(1.4) 特別研究員 奨励費

(1.4.1) 特別研究員 奨励費 (DC)

- a. 太陽フレアを活発に起こす黒点形成メカニズムの解明
- b. 高棹真介
- c. 900,000 円

(1.4.2) 特別研究員 奨励費 (DC)

- a. 太陽面爆発現象における速い磁気リコネクション発生機構の研究
- b. 高橋 卓也
- c. 1,000,000 円

(2) 京都大学

(2.1) 生存圏ミッション研究

a. 太陽活動長期変動研究のための Ca II K 太陽全面画像データベースの改良と解析ソフトウェア開発

- b. 上野悟
- c. 432,000 円

(3) 名古屋大学太陽地球環境研究所

(3.1) 地上ネットワーク観測大型共同研究

(3.1.1)

a. 京都大学飛騨天文台 SMART 望遠鏡と野辺山電波ヘリオグラフの共同観測データ解析による、フレアの短時間変動の研究

- b. 一本潔
- c. 465,000 円

(3.1.2)

a. 太陽観測データによる太陽紫外線放射量の推定および超高層大気変動との比較

- b. 浅井歩
- c. 670,000 円

(3.1.3)

a. 飛騨天文台 SMART 望遠鏡と SDO/Hinode 衛星の相補的太陽磁場観測に基づくコロナ磁場モデリングスキームの開発

- b. 永田伸一
- c. 632,000 円

(4) 国立天文台

(4.1) 共同開発研究

a. 狭帯域チューナブルフィルターによる高速撮像分光装置の開発

- b. 一本潔
- c. 2,400,000 円

(4.2) 委託研究 (大学支援)

a. 太陽観測を通じたペルーとの天文学学術研究交流

- b. 柴田一成
- c. 500,000 円

(5) その他

(5.1) 文部科学省

- a. 宇宙科学技術推進調整委託費
- b. 柴田一成
- c. 平成 25 年-27 年 (平成 27 年度: 11,291,000 円)